
オンライン(ミート)でグループ討議



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています

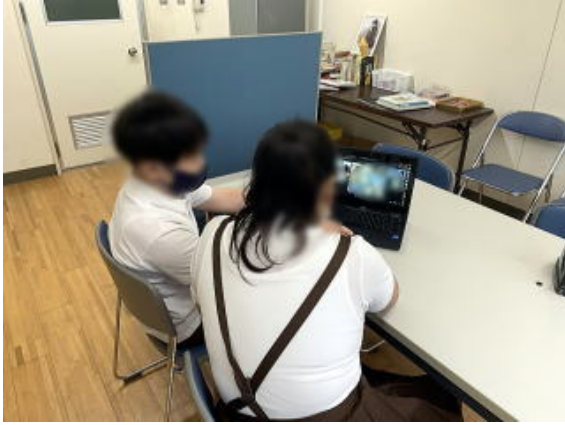
6年生は、これからの学習方法の一つとしてオンライン（ミート）の活用方法について学んでいました。まず、教室で全員基本的な操作内容を習得します。子どもたちは「速い」です。大人が思っている以上にサクサクと操作していきます。生まれたときからパソコンやスマホが日常生活の中に存在する時代で育っている子どもたちです。



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています

次に1グループにつき2人程度とし、校舎内の開いている教室へ分かれて移動し、オンラインで繋がります。6年教室には指示を出す先生が待機します。子どもたちにはオンライン上での指示となります。わからないときは、わからないことを言葉で的確に先生にその事情を伝えなければなりません。先生がいつもリアルに隣に来てくれるわけではないのです。2人で協力しながら操作を習得していました。

さらに、今度は設定されたグループ同士で討論します。「社会に出たとき役に立つのは国語の方だと思うか、算数の方だと思うか。」が今日のテーマです。あくまでも今回の学習の目的は、「ミート」を使ってオンラインでうまく繋がろうということですから、内容を特に重視しているわけではありませんが、それでもそれぞれのグループ毎に子どもたちはタブレットの向こうにいる友だちと繋がることを楽しみながら、しっかり討論していました。

一昔には考えられなかった授業風景です。ICTは子どもたちの学びを無限に広げる可能性があります。しかし、その原点にある人と繋がることの喜びは今も昔も変わりません。オンラインを活用することで繋がる喜びと学びの無限の可能性を体現し、決して他者を誹謗中傷したり、人の心を踏みにじったりすることのないよう、正しく学び楽しく活用しながら、これからの未来を生きてほしいと思います。
